

真夜中の弥次さん喜多さん (2005)

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 124分

初公開日 2005/04/02

公開情報 アスミック・エース

【キャッチコピー】

お伊勢参りへ行こうぜベイバー

【解説】

十返舎一九の滑稽本『東海道中膝栗毛』を下敷きに、お伊勢参りに旅立った2人の男が繰り広げる珍道中を、ユーモラスかつシュールに描いたしりあがり寿の傑作マンガ『真夜中の弥次さん喜多さん』とその続編『弥次喜多in DEEP』を映画化。「GO」「ピンポン」の人気脚本家・宮藤官九郎の監督デビュー作。主演は長瀬智也と中村七之助。

商家の若旦那でしっかり者の弥次さんとヤク中の旅役者、喜多さんはディープに愛し合う恋人同士。しかし、極度の薬物依存でどん底まで落ちてしまった喜多さんは“リアルが分からない”と弥次さんに不安を訴える。折しも長屋にはお伊勢さんからのダイレクトメールが。そこで弥次さんは喜多さんのヤク中を治すため、そしてリアルを探すため、お伊勢参りへと旅立つことに。日本橋をあとにし、お伊勢さん目指して東海道を一路西へと進む弥次さんと喜多さん。そんな2人が最初にやって来たのは箱根の関所“笑の宿”。笑いが一番の当地では、なんと笑いのセンスがないと関所も通れないという。仕方なく弥次さんと喜多さんもネタ合わせを始めるが…。スタートから波乱の予感いっぱいの人旅。やがてそれは、伊勢が近づくほどに、リアルと幻覚、生と死が入り乱れ、ますます混沌の度を深めていく…。

【クレジット】

監督 宮藤
官九
郎

チーフ
プロ
デュ
サー
豊島
雅郎

小川
真司

エグ
ゼク
ティブ
プロ
デュ
サー
椎名
保

藤島
ジュ
リー
K.
島本
雅司
吉田
博昭

	長坂 まき 子	
プロ デュ サー	宇田 充	
	藤田 義則	
原作	しり あが り寿	『真夜中の弥次さん喜多さん』（マガジンハウス刊）／『弥次喜多in DEEP』（エンターブ レイン刊）／『小説 真夜中の弥次さん喜多さん』（河出書房新社刊）
脚本	宮藤 官九 郎	
撮影	山中 敏康	
美術	中澤 克巳	
編集	上野 聡一	
音楽	ZAZEN BOYS	
音楽 プロ デュ サー	安井 輝	
スー パー バイ ザー	柘植 靖司	
V E	宇津 野裕 行	
照明	椎原 教貴	
装飾	柴田 博英	
録音	藤丸 和徳	
整音	浦田 和治	
V F Xス パー バイ ザー	田中 浩征	
V F Xプ ロ デュ サー	曽利 文彦	
助監 督	五十 嵐昭 徳 菅原 丈雄	
出演	長瀬 智也	弥次 郎兵 衛

中村 七之 助	Shichinosuke Nakamura	喜多 八
小池 栄子		お初
阿部 サダ ヲ		金々
柄本 佑		呑々
生瀬 勝久	Katsuhisa Namase	瓦版 男
寺島 進		岡っ 引き
竹内 力		木村 笑之 新
森下 愛子		旅籠 の女 将
岩松 了		旅籠 の番 頭
板尾 創路		浪速 ホッ ト
桑幡 壱真		浪速 サン ド
大森 南朋		拷問 され る侍
おぎ やは ぎ		旅籠 の客
皆川 猿時		ザル 売り
古田 新太		清水 次郎 長
松本 まり か		喜び 組
川口 真理 恵		喜び 組
あじゃ		喜び 組
前田 綾花		喜び 組
松本 真衣 香		喜び 組
斉藤 亜希 子		喜び 組
勝俣 幸子		喜び 組

山口智充		オカマの店主おちん
清水ゆみ		店主の娘お幸
しりあがり寿		たわあ麗満堂の店主
松尾スズキ		ヒゲのおいらん
榎岡かずお	Kazuo Umezu	籠を背負った老人
中村勘九郎		アーサー王
毒蝮三太夫		毒蝮三太夫
研ナオコ		奪衣婆
ARATA ARATA		バーテン
麻生久美子		バーテンの妻
妻夫木聡		幻の弥次郎兵衛
荒川良々		魂